



bordstation **簡単ご利用ガイド**



株式会社 MJE

目次

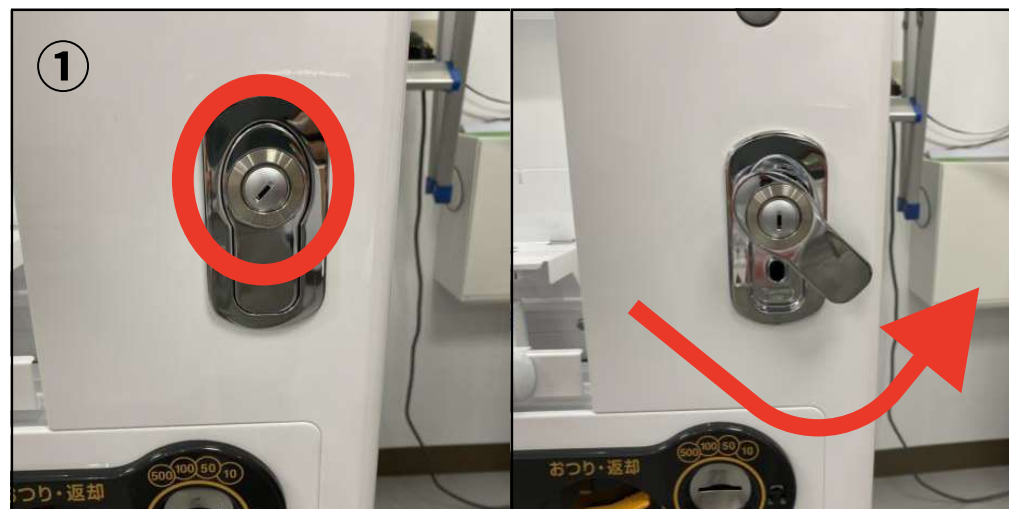
1. 鍵の管理・扉の開け方	2
2. 各部品のご案内	3
3. ディスプレイ扉の開閉手順 -3P	3
4. ディスプレイ表示と対応するコラム番号	4
5. コラム扉の開けかた	5
6. 物販コラムについて	6
7. 物販コラム / 規定サイズ	7
8. リモコンの主な操作・基礎知識	8
9. 設定方法について	9
10. よくあるご質問	17

鍵の管理・扉の開け方

鍵の管理について

- ・ 鍵は初回お渡しの2本のみとなります。
- ・ 紛失防止のため、**2本は別々に保管**してください。
- ・ 1本でも紛失した場合は部品交換が必要となります。

鍵の紛失・盗難防止のため、
扉の開閉後は必ず鍵を抜いて所持してください。



鍵・本体扉の開け方について

① 赤丸の部分に鍵を差し込みます。
ハンドルを手前に引き出し、右に約45度回すと扉を開けることができます。

② 扉を開けた後は、ドアストッパーを使用して扉を固定してください。
風などにより扉が急に動く恐れがあるため、必ずドアストッパーをかけてください。

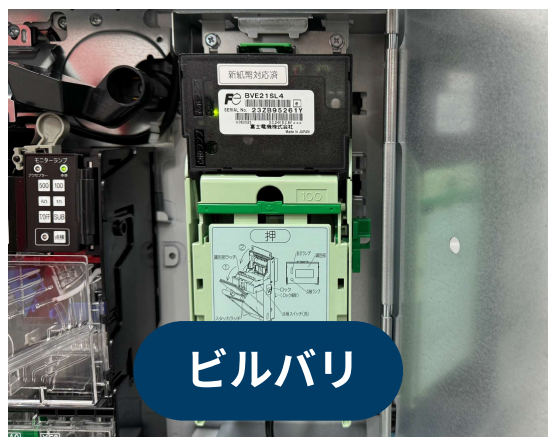


各部品のご案内



コインメック

センサーにより投入された硬貨を検知し、正規の硬貨かどうかを判別する装置です。



ビルバリ

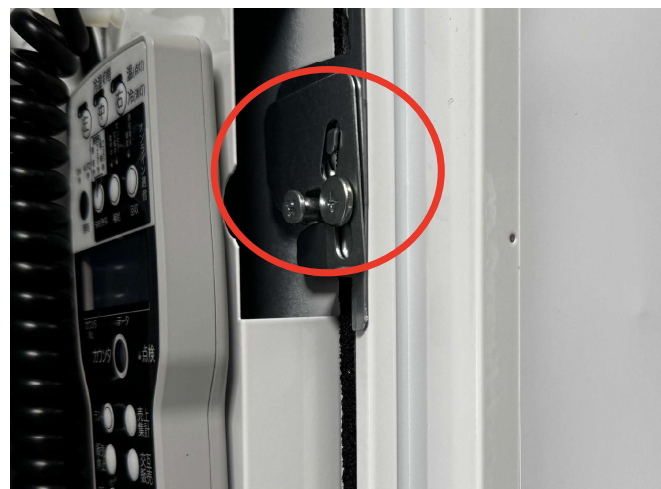
センサーにより投入された紙幣を検知し、正規の紙幣かどうかを判別する装置です。



キャッシュボックス

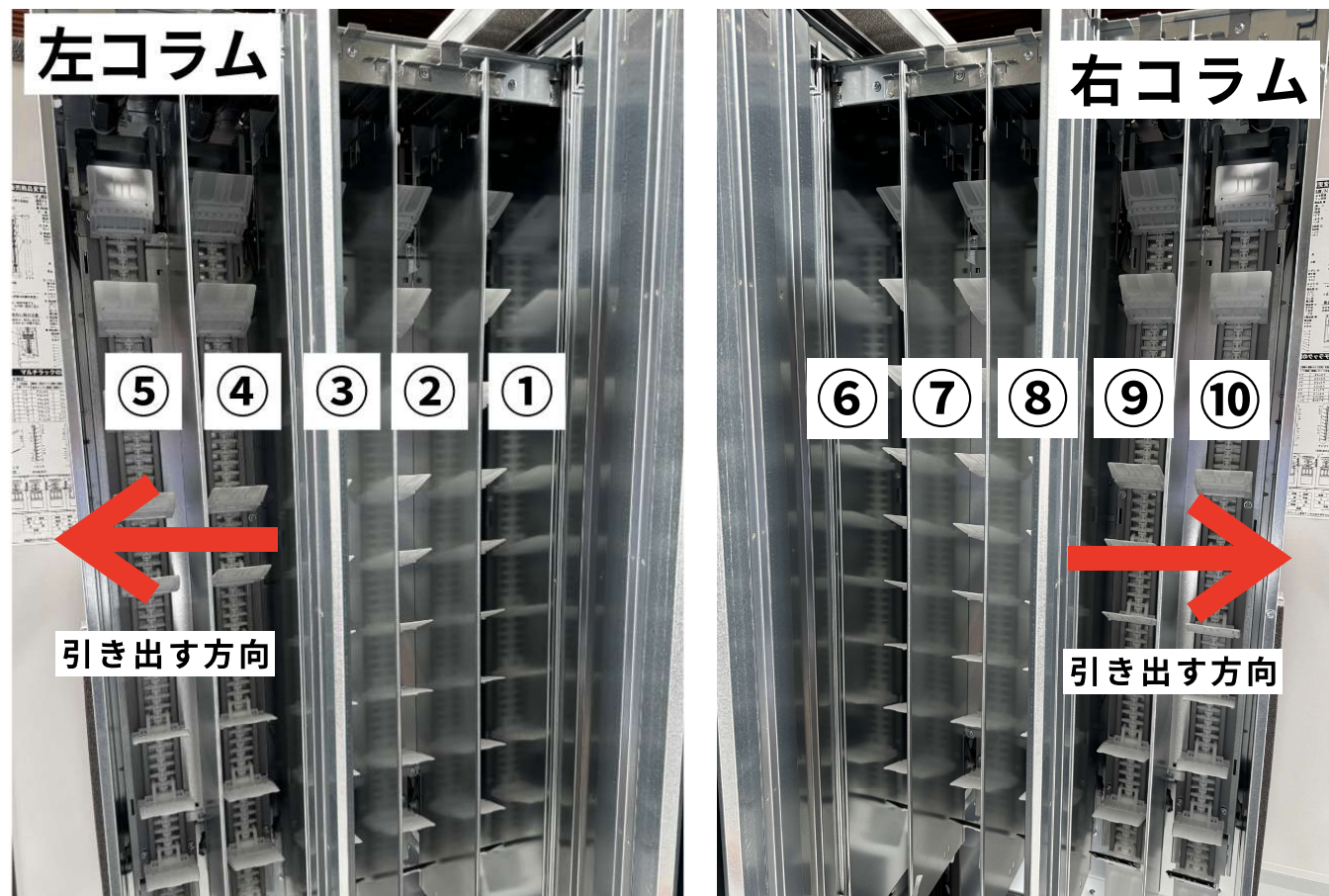
釣り銭が十分にある場合に投入された硬貨が収納される箱です。

ディスプレイ扉の開閉手順



赤丸の部分のつまみを上に持ち上げます。ピンが外れた状態になり、ディスプレイ扉を開けることができます。

ディスプレイ表示に対応するコラム番号



自動販売機内で商品を収納・販売する棚のことを「コラム」といいます。本ページでご案内している内容は初期設定時の設定内容となります。温度の切り替えは、各庫内ごとに一括で変更することが可能です。

コラム扉の開けかた



取っ手を持ち手前にラックを引き出してください。次に、ドアを少し上にあげると開けることができます。商品補充後は、扉が確実に閉まっていることをご確認ください。

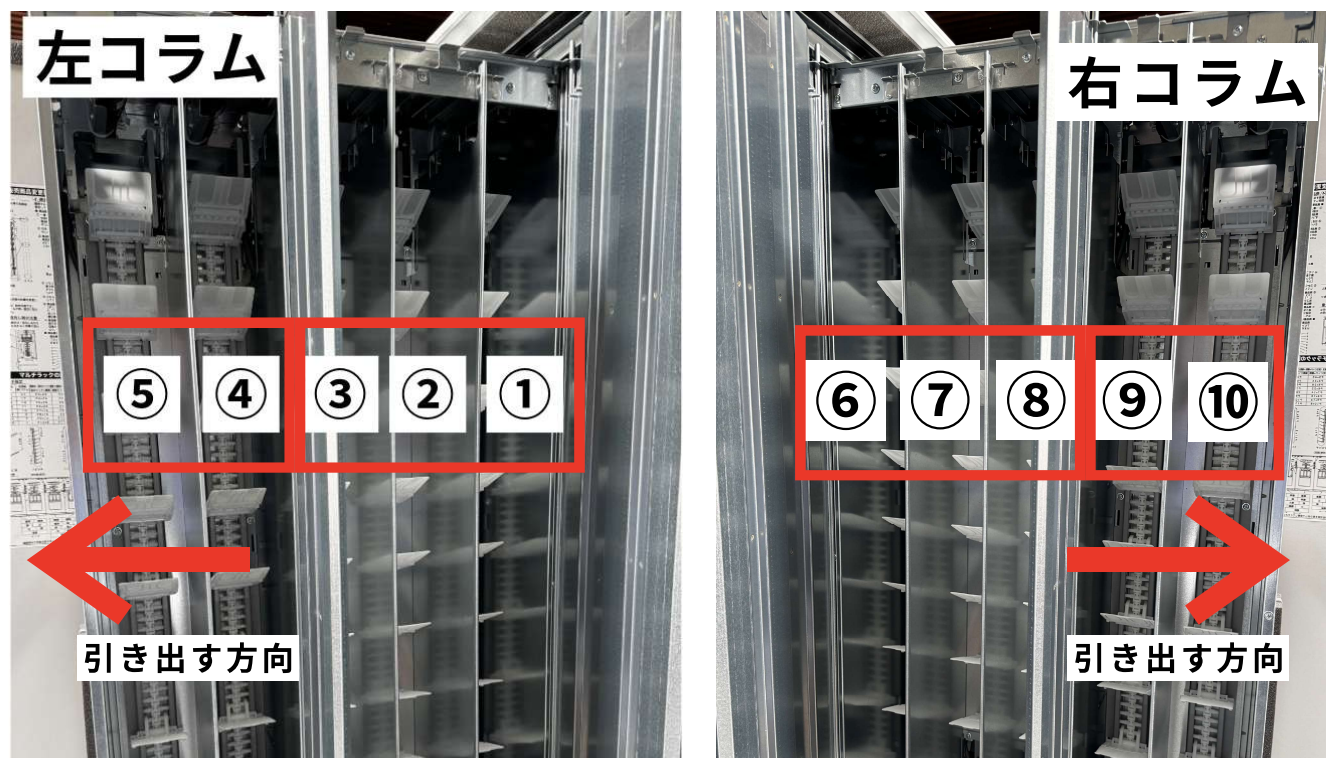
物販コラムについて

コラム（商品棚）は①～⑩の10か所あります。コラムは左右に分かれており、商品のサイズに合わせてコラム幅の組み合わせを変更することができます。

左側コラム：①～⑤

右側コラム：⑥～⑩

※④⑤、②③、⑩⑨、⑧⑦は連結（ペアコラム設定_15Pに記載）して使用することができます。ペアコラム設定を行った場合、**最大幅は184mm**となります。



設定可能な幅の組み合わせは、下記の表をご確認ください。

①②③ • ⑥⑦⑧

a. 標準 (92mm)+ 標準 (92mm)+ 標準 (92mm)

b. 標準 (92mm)+ 細 (78mm)+ 太 (106mm)

c. 細 (78mm)+ 極太 (120mm)+ 細 (78mm)

d. 太 (106mm)+ 極細 (64mm)+ 太 (106mm)

④⑤ • ⑨⑩

A. 標準 (92mm)+ 標準 (92mm)

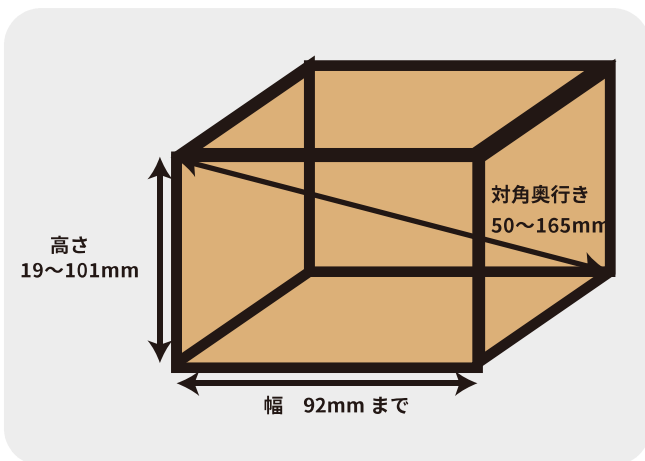
B. 細 (78mm)+ 太 (106mm)

C. 太 (106mm)+ 細 (78mm)

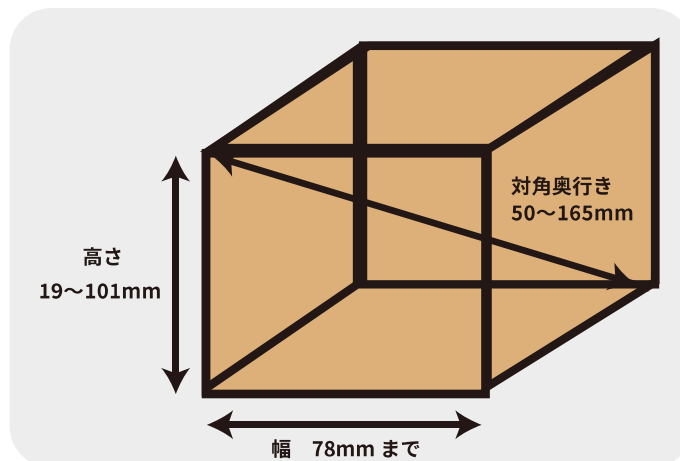
物販コラム / 規定サイズ

※連結 (ペアコラム) 設定については 15 ページに記載しております。

標準幅の場合



細幅の場合



販売商品サイズ (目安)

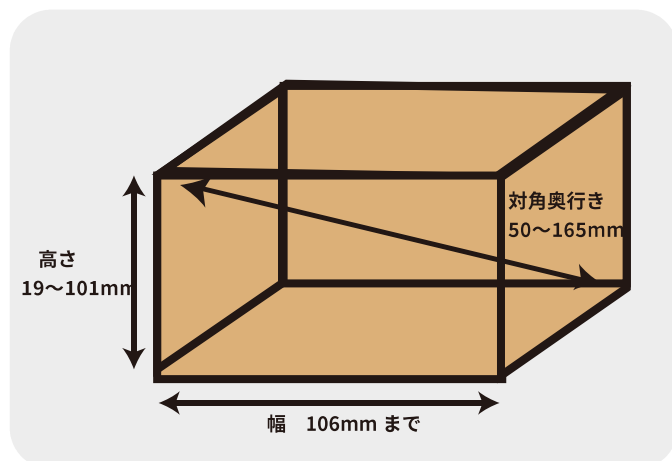
高さ：19 ~ 101mm
※初期設定 (7 ピッチ) 66mm

幅：64 ~ 120mm
※初期設定 (標準) 92mm

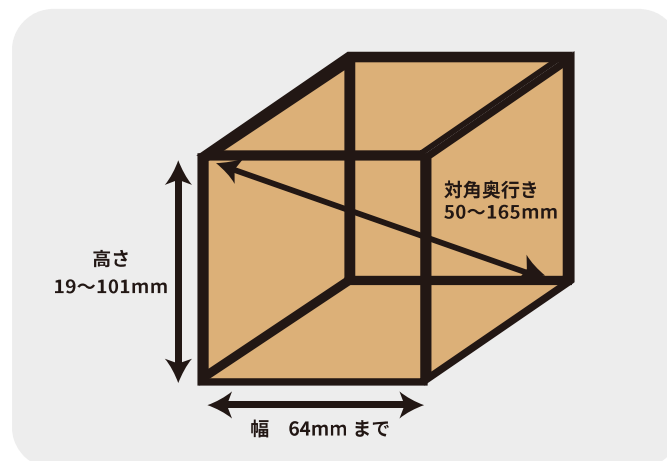
奥行き：50 ~ 160mm

重さ：45 ~ 350 g

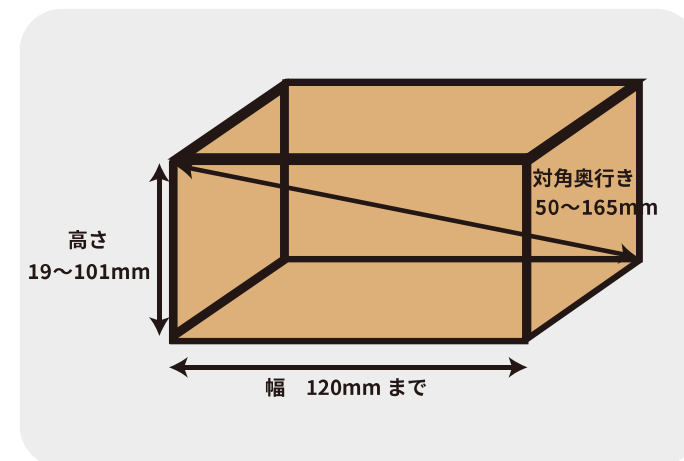
太幅の場合



極細幅の場合



極太幅の場合



リモコンの主な操作・基礎知識

冷温切替

庫内の冷却・加温の切り替え

テスト

各種テストを行うときに使用

販売休止

販売休止時間、販売休止モードを設定・確認するときに使用

コラム設定

コラム - セレクションの設定・確認するときに使用

点検 / クリア

①故障内容の確認
②各種データのクリア・コピーを行うときに使用

モードスタート / ストップ

①主な操作以外の設定・確認をするときに使用
②テスト販売の開始または停止



点検ランプ

故障が発生すると点滅

売上集計

売上データを確認するときに使用

価格設定

現金の価格設定をするときに使用

ダウン・アップ

各種項目・モード・データなどを変更するときに使用 1回押すごとにデータが増減する

書込み

リモコンを操作して、データを確定するときに使用

終了

リモコン操作を終了し、販売待機状態に戻る

設定方法について

1. 常温設定について	10-11
2. 常温庫内温度設定	12
3. 販売価格の設定方法	13
4. 売上集計確認・クリア方法	13
5. 商品の排出テスト 単品	14
6. 商品の排出テスト 全品	14
7. 連結設定	15
8. 照明節電設定	16

設定 - 常温設定①

ヘルスコードの解除

初期設定でヘルスコードの対象コラムが設定されています。

常温設定を行う場合はヘルスコード解除（点灯→消灯）の操作が必要になります。



1. 販売休止キーを
5回押します



2. リモコンの液晶は
「HE」と表示されます



点灯 = 設定



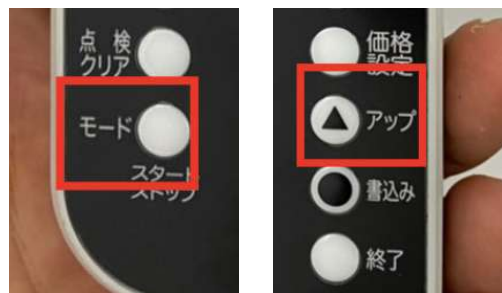
消灯 = 未設定

3. 販売可能ランプが点灯している押しボタンを手で押し
消灯（未設定）状態にします

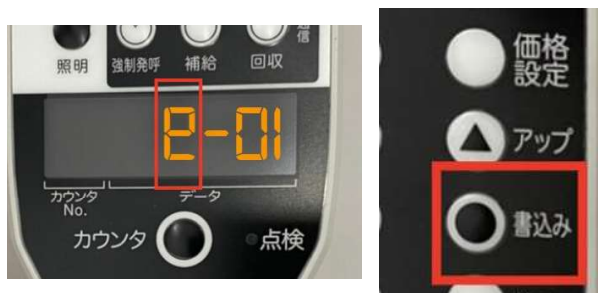
※ヘルスコードとは、冷却中に停電や故障により庫内温度が 10°Cを超えた場合、安全のため販売を中止するための機能です。

設定 - 常温設定②

常温設定を行う場合、事前にヘルスコードの解除が必要です。未設定の方は先にヘルスコードの解除 (P.10) をお願いいたします。



① リモコンの「モード」キーを押した後、「アップ」キーを押していきます。



② リモコンの画面が <e-0> と表示されたら「書込み」キーを押します。



③ 「アップ」キーを押し <e-07> が表示されたら再度「書込み」キーを押してください。



④ 画面に <c1-0> と表示されます。「アップ」キーを押して <c1-1> に変更し「書込み」キーを押してください。

1：常温設定
0：冷蔵設定



⑤ 画面に <c2-0> と表示されます。「アップ」キーを押して <c2-1> に変更し「書込み」キーを押してください。

1：常温設定
0：冷蔵設定



⑦ 設定が完了しましたら「終了」キーを押して待機画面に戻ってください。

常温設定の場合、商品選択ボタンの色が紫色になります。

常温庫内温度設定

物販コラムでは、常温（保温）温度を設定することが可能です。 ※冷蔵は不可

設定温度：10℃～30℃

対象庫内：C1（左庫内）/ C2（右庫内）が対象となります。



① リモコンの「モード」キーを押した後「アップ」キーを押し、リモコンの画面が〈e-0〉と表示されたら「書込み」キーを押します。



② 続けて「アップ」キーを押し、〈e-06〉が表示されたら再度「書込み」キーを押してください。



③ 「アップ」キーまたは「ダウン」キーを押して設定したい温度を表示させてください。



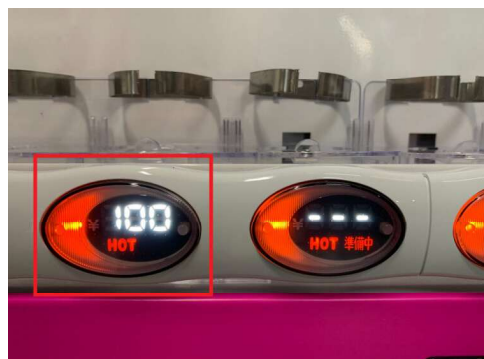
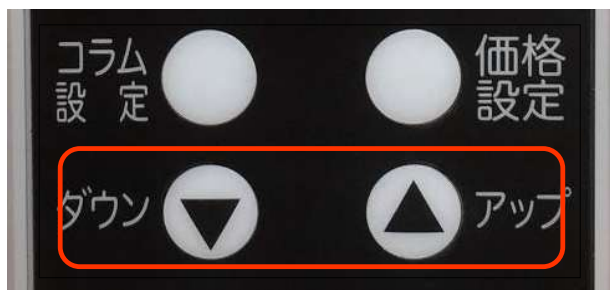
④ 設定したい温度が表示したら「書込み」キーを押します。
※「書込み」キーを押すと、次の庫内番号へ進みます。

⑤ 続いて①-④と同様に右庫内 (2-) も設定してください。

※庫内番号は1→2→3→4の順に表示されます。
※物販機の場合、3・4は装備されていないため、そのまま「書込み」キーを押して進めてください。

画面に〈1-〉と表示されます。
表示の意味は以下のとおりです。
〈1-〉：左庫内 (C1)
〈2-〉：右庫内 (C2)

販売価格の変更方法



① 価格設定ボタンを押します

② アップ / ダウンのボタンを押し、販売したい価格にします

③ 価格変更したい商品のボタンを押します

④ 価格が変更されていることを確認し、問題なければ『終了』キーを押します。

※ 1000円札は3枚までしかご利用いただけませんので、ご注意ください。4枚については別途設定が必要です。

売上集計確認・クリア方法



売上集計キーを1回押すと、
トータルの売上個数が表示されます。

売上集計キー2回押すと、
トータルの売上集計が表示されます。

コラム別の売上個数・金額を確認

トータル売上個数または金額の表示後、
商品ボタンを押すと、リモコンに各コラムの
売上本数と売上金額が表示されます。

売上個数・金額のクリア

売上個数・売上金額の表示中に「点検／クリア」
キーを2秒以上押すと、すべてのコラムの売上
個数と売上金額がクリアされます。

※トータル売上金額およびコラム別売上金額
も同時にクリアされます。

商品の排出テスト 単品 (1 個) の排出テスト



① リモコンの「テスト」ボタンを**一回押す**と、画面に「TST1」と表示されます。



② 「アップ」「ダウン」キーを使用し商品を出したいコラム番号を選択します。選択後、「モード」キーを押してください。

③ 商品出口から一つだけ排出されます。

商品の排出テスト 全品 (コラム内すべて) の排出テスト



① リモコンの「テスト」ボタンを**2回押す**と、画面に「TST2」と表示されます。



② 「アップ」「ダウン」キーを使用し商品を出したいコラム番号を選択します。選択後、「モード」キーを押してください。

③ 商品出口からコラム内に残っている商品すべてが排出されます。

商品の排出を途中で止めたい場合はもう一度「モード」キーを押します。

連結設定

商品のサイズなどにより、2つのコラムを連結して販売する設定が可能です。



① リモコンの「モード」キーを押した後、「アップ」キーを押していきます。左側の数字を「3」に設定してください。リモコンの画面が〈3-0〉と表示されたら、「書込み」キーを押します。



② 続けて「アップ」キーを押し、右側の数字を「17」に設定します。リモコンの画面が〈3-17〉と表示されたら、再度「書込み」キーを押します。



③ 画面に〈2-0〉と表示されます。「アップ」キーを押して右側の数字を「0」を選択してください。

設定値の意味は以下のとおりです。

0：連結設定（2コラム使用）

1：シングル設定（1コラム使用）

④ 続いて以下のコラム番号が順に表示されます。〈4-0〉⇒〈7-0〉⇒〈9-0〉

ペアコラム設定を行いたい箇所について③と同じ方法で右側の数字を「0」に設定し操作を行ってください。

「書込み」キーを押すと、次のコラム設定画面へ進みます。
※設定を変更しない場合も、「書込み」キーを押して次へ進んでください。

※以下のコラムのみ連結設定が可能です。

2-3コラム

4-5コラム

7-8コラム

9-10コラム



⑤ 終了キーを押して設定を終了します。

照明節電設定

本機では、指定した時間帯に照明を節電する設定を行うことができます。



① リモコンの「モード」キーを押した後、アップキー / ダウンキーを使用して「2」を選択します。
続いて、書込みキーを押して確定します。



② アップキー / ダウンキーを使用して「3」を選択し、書込みキーを押します。
続いて、書込みキーを押して確定します。



③ アップキー / ダウンキーを使用して節電を**開始したい時刻** (時・分)を設定します。
続いて、書込みキーを押して確定します。



④ アップキー / ダウンキーを使用して節電を**終了したい時刻** (時・分)を設定します。
続いて、書込みキーを押して確定します。



⑤ 設定内容を確認後終了キーを押して設定を完了します。

よくあるご質問

1. 故障かな？と思ったらまずこちらを確認 —— 18
(点検ランプ点滅)
2. 電源の入れなおし方法 _____ 19
3. 部品の清掃 _____ 20
4. 各種エラーコード _____ 21-23
5. 機械トラブルについて _____ 24

点検ランプの点滅 故障かな？と思ったらまず確認

故障かな？と思ったら、まずは
リモコンの点検ランプが点滅しているか確認してください。

【点滅している場合】

リモコンの『**点検・クリア**』キーを1度押すと、エラーコードが表示されます。
エラーが複数ある場合、続けて『アップ』キーを押すと、2つ目以降のコードが表示されます。
エラーコードを確認し、該当の対処方法にしたがって対処ください。

【点滅していない場合】

点検ランプが点滅していてエラーコードが表示されない場合、
一度本体主電源の入れ直しを行ってください。(P.19 参照)



電源の入れなおし

- ① 自動販売機本体のブレーカーを OFF にします。



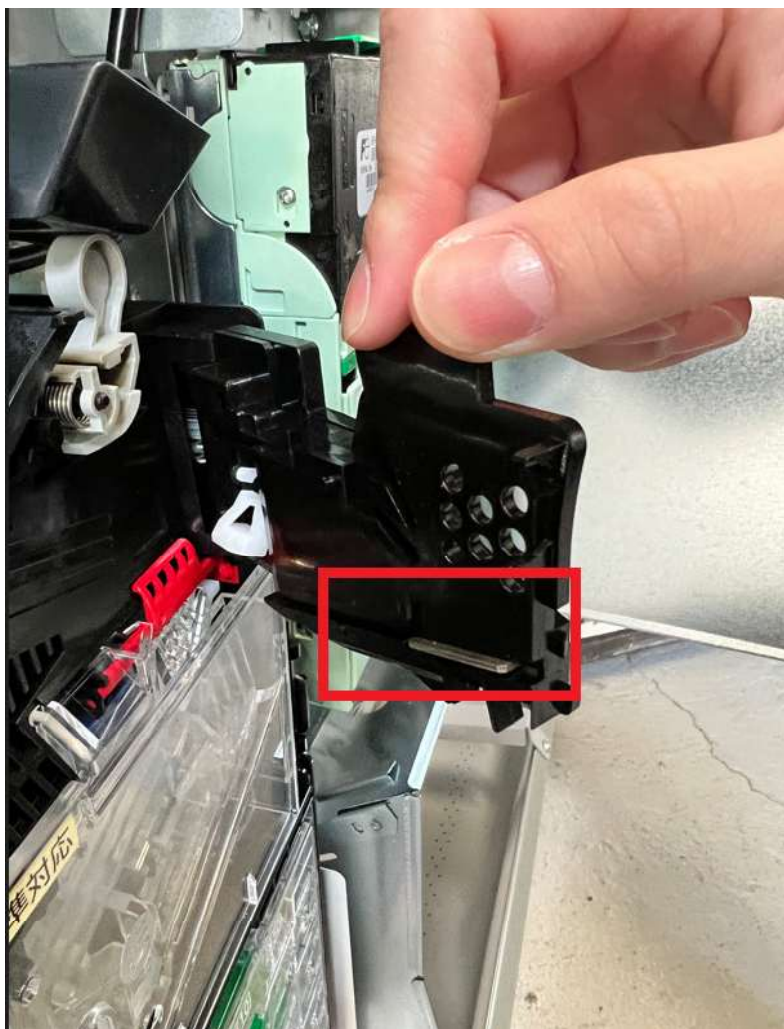
- ② 10 秒～ 20 秒ほどお待ちください。

- ③ 再度電源を「ON」にします。

検銭部分の清掃

綺麗な布などでコインメックの検銭部分（赤枠）を乾拭きしてください。

※洗剤などは使用せず、必ず乾拭きをお願いいたします。



E16 このエラーは、硬貨詰まりなど硬貨払い出し機構に関するトラブルを示しています。

①電源を入れなおす (P.19 を参照)

②カセットチューブを取り外す

エラーが消えない場合は、自販機から『カセットチューブ』を取り外してください。

取り外しにくい場合は、もう一度電源を入れ直してから試してください。
※無理に外すと部品が破損する可能性があるため、慎重に行ってください。

③ワイドスライダーの確認・調整

カセットチューブが挿しこまれていた場所を確認してください。

・『ワイドスライダー』が自販機にくっついている場合は取り外し、カセットチューブの中に戻してください。

※無理に取り外すと破損の可能性があるので、注意して作業してください。

④カセットチューブを元に戻す

ワイドスライダー装着後、カセットチューブを正しく元の位置に戻しエラーが解消されているか確認してください。

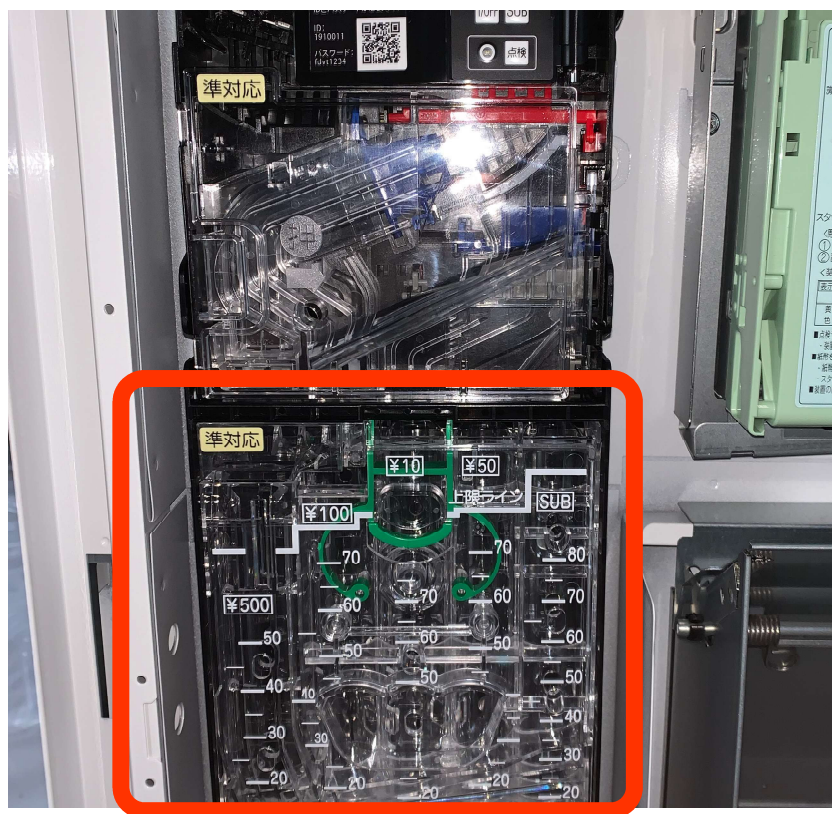
→エラーが消えない場合は、もう一度電源の入れ直しをお試しください。



E-17/E-19

E-17

- ① 釣銭カセット部が正しく装着されているかご確認ください。



- ② 装着状態に問題がみられない場合は、本体主電源の入れ直しをお試しください。(P.19 参照)

E-19

- ① コインアクセプタを点検していただき、硬貨詰まりや異物が紛れている場合は取り除いてください。

→元の状態に戻していただき、エラーが消えている場合は終了です。



- ② エラーが消えない場合は、本体主電源の入れ直しをお試しください。(P.19 参照)

E-2433/E-2435

① 対象コラムの商品詰まり・棚の取り付け状態を確認

商品が詰まっていないか確認してください。
商品棚が正しく取り付けられているか確認してください。
問題がある場合は正常な状態に直してください。

※問題がない場合は次の手順へ進みます。

② 販売復帰テスト（テスト 6）を実施

1. 「テスト」キーを6回連続で押します。
2. 「モード」キーを押します。
3. 「ピッ…ピッ…ピッ…」とブザー音が鳴ります。
4. 商品が排出されればテスト成功です。
5. 「終了」キーを押します。



③ 点検ランプの状態を確認

点検ランプ（エラー 2433 / 2435）の点滅が消えていれば復旧完了です。
点滅が続いている場合は次の手順へ進みます。

④ 販売復帰テスト（テスト 6）を再度実施

- ・エラーランプが消えない場合、再度テスト6を実施してください。
- ※物販ラックのチェーンが一周するまで、テストを複数回実施する必要がある場合があります。

⑤ 点検ランプの点滅が消えれば復旧完了です。

機械トラブルについて

コインメックおよびビルバリは、硬貨や紙幣の汚れ、ほこり、水濡れ、異物などにより、内部に汚れが蓄積することがあります。

硬貨の識別精度や払出性能を維持するため、月に1回程度の清掃を行っていただきますようお願いいたします。

汚れが蓄積すると、硬貨の識別不良や払出不良など、機械の動作に影響が出る可能性があります。

※清掃方法の詳細につきましては、「検銭部分の清掃」のページをご参照ください。

サポートサイトのご案内

機械に関するご不明点やトラブルがございましたら、下記のサポートサイトをご確認ください。

エラーコードのマニュアルや、不具合状況に応じた対応方法などをご案内しております。また、物販用ボトルケースのご注文も承っております。

ボードステーション ユーザーサイト

<https://user.bordstation.jp/>

